

令和3年度 新潟市農業活性化研究センター試験成績書

研究課題	早期成園化，省力化が可能なカキ「平核無」のV字ジョイント栽培の検討
背景・ねらい	本市カキ産地では栽培者の高齢化と高樹齢化等により低生産園の顕在化している。そこで，経営の安定化，園地の円滑な継承を促す簡便かつ省力的で早期成園化が可能な栽培技術の導入が望まれている
担当者名	鍋田 慎介 中野 耕栄
研究期間	2020年～（継続2年目）

1 目的

省力化と早期成園化が可能なV字ジョイント栽培について生育収量等を継続し，その現地適応性について検討する。

2 方法

(1) 試験場所

新潟市農業活性化研究センター，露地，埴壤土

(2) 供試品種等

平核無（2020年2月12日植え付け，同3月6日ジョイント接ぎ木）

4ユニット，6樹/ユニット

(3) 耕種概要

ア 栽植様式：V字ジョイント栽培

主枝高（ジョイント部地上高）60 cm，側枝上向角 60 度，列間 2.5 m×株間 1.0 m

イ 施肥等

年間肥料成分 kg / 10 a 当たり：N:P:K = 5.0 : 3.0 : 4.0

石灰質肥料 100 kg / 10 a

土壌管理：雑草草生，適宜かん水

ウ その他栽培管理及病虫害防除

果樹指導指針（新潟県平成 31 年 3 月），「令和 3 年度版果樹防除ハンドブック（新潟県果樹振興協会発行）」に準拠

3 結果の概要

(1) 栽培経過の概要

前年は植付，ジョイント 1 年目で新梢の伸びは決して良好ではなかったが，本年は健全な生育となり一部で二次伸長も見られた。また局所的に開花・結実が見られ 10 kg 程度の収量があった（図 1，表 1）。



図 1 ジョイント部の状況（撮影日：2021年4月28日）

表 1 生育および収量

栽培様式	樹齢 (ジョイント後)	本数	発芽期	満開期	収穫期	落葉期	実収穫量		
							収量 (kg)	果数 (果)	果重 (g)
V字ジョイント	2	24	3月26日	5月30日	10月18日～10月29日	11月24日	10.9	65.0	167.0
開心自然形	2	1	-	未着らい	-	-	-	-	-